

「東北電力グループ中期経営方針(2017～2020年度)」の概要

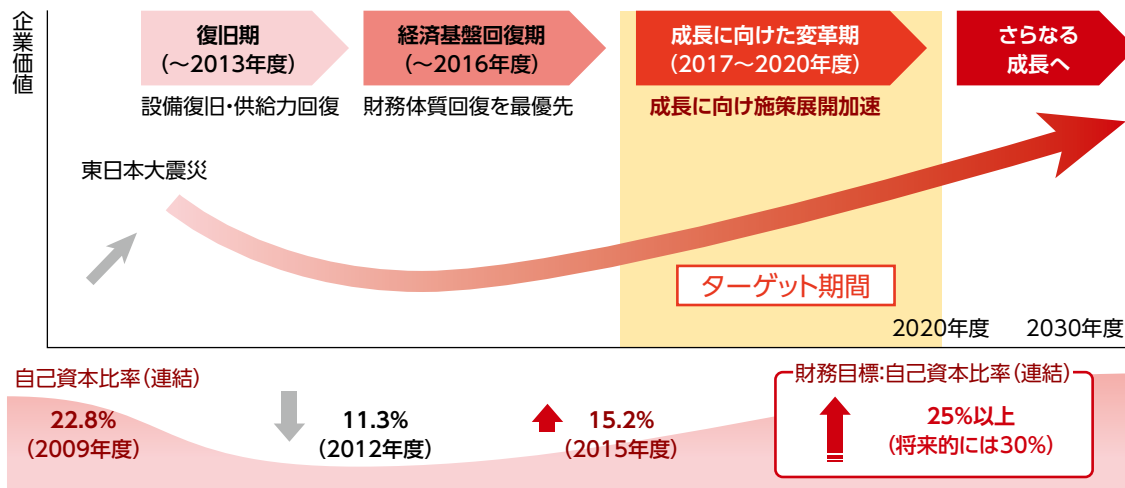
当社は、今年1月、「東北電力グループ中期経営方針(2017～2020年度)」を策定いたしました。本方針では、対象期間を「成長に向けた変革期」と位置付け、以下の基本姿勢と“3つの力点”のもと、多様な施策に取り組み、「2020年度までに自己資本比率(連結)を25%以上(将来的には30%)」とする財務目標の確実な達成とともに、将来の成長に向けた事業展開や投資を通じて、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

基本姿勢と“3つの力点”

基本姿勢 “変化をチャンスに さらなる成長へ挑戦する 東北電力グループ”

- 力点1 お客さま・地域社会の声にお応えする
- 力点2 成長に向けた新たな事業機会を追求する
- 力点3 変革実現により強固な経営基盤を確立する

財務目標と成長の達成



成長に向けた目標の設定

		2020年度	2030年度	(参考:2015年度実績)
電気事業	販売電力量 (域外・卸売を含んだ増分)	+35億kWh	+150億kWh	域内販売電力量 751億kWh
海外事業	海外発電事業 持分出力	60万kW	120万kW	20万kW
ガス事業	販売ガス量	45万t	60万t	34万t

カ点1

お客さま・地域社会の声にお応えする

当社は、「お客さま・地域社会の声にお応え」するため、グループ一体となって競争力強化、地域活性化の応援を積極的に実施してまいります。

お客さまのニーズにお応えする提案活動

法人分野におけるトータルエネルギーソリューションの拡大

法人分野においては、お客さまのニーズに沿った新しい料金メニューを開発してまいります。また、ヒートポンプシステム等の電化による省エネ、IoTやAIを活用した『エグゼムズ』*などのエネルギー管理システム(EMS)、企業グループを活用したガス販売などのトータルエネルギーソリューションを拡充してまいります。

※ 当社が開発したエネルギー管理システム



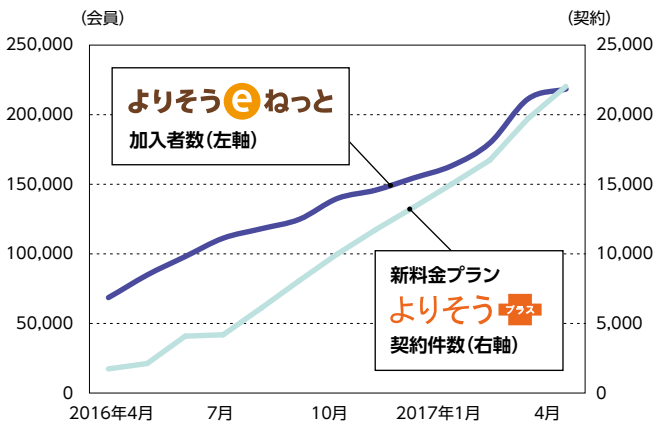
「エグゼムズ」では電力の見える化や節電行動支援(特許出願中)などにより電力使用の最適化を支援

家庭分野におけるサービスの充実

家庭分野においては、会員登録いただくことで電気料金や使用量がすぐに分かり、ご契約の手続きが簡単に行えるWebサービス「よりそうeねっと」をご用意するとともに、セットプランやお客さまのライフスタイルに“より沿う”新料金プランをご用意し、お客さまに一層ご満足いただけるお得なサービスの拡大を進めてまいります。

■「よりそうeねっと」加入者数および

新料金プラン契約件数の推移



■他社と連携してご提供するサービスの充実



お得なセットプランの提供
当社の電気と提携各社のサービス(LPガス、インターネットサービス、セキュリティに関するサービス)のセットプラン



当社の「よりそうeポイント」をイオンの電子マネー「WAON」に交換(交換率2倍)



トヨタ自動車との新たなサービス
「PHVよりそうeドライブプロジェクト」の展開
新型プリウスPHVによるEVモード走行距離に応じて当社の「よりそうeポイント」を提供

原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み

当社は、今年2月、現在取り組んでいる新規制基準への適合性審査や安全対策工事の状況を踏まえ、女川原子力発電所および東通原子力発電所における新規制基準への適合に向けた工程を見直しました。

引き続き安全確保を最優先に、新規制基準への適合性とどまらず、原子力発電所のさらなる安全レベルの向上に向けた取り組みを着実に進め、地域のみなさまのご理解を得ながら、工事完了後、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。

■見直し後の工程

	安全対策工事完了時期	
	従来	見直し後
女川2号機	平成29年4月	平成30年度後半
東通1号機		平成31年度



海拔約29mの防潮堤かさ上げ工事(女川)



淡水貯水槽設置工事(東通)

地域の復興・発展への貢献

当社は、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という基本的な考え方のもと、地域社会の一員として地域のみなさまと様々な取り組みを行ってまいりました。

地域の未来を担う子どもたちの個性や才能を育てる環境づくりを支援する「放課後ひろば」、地域の課題解決に取り組む団体に専門家を派遣し人材育成やノウハウの面でサポートする「まちづくり元気塾[®]」などの活動のほか、今年2月には、地域の課題解決に取り組む団体に資金面でサポートする「東北・新潟の活性化応援プログラム」を創設しました。

今後とも、各地域が直面する課題や地域のみなさまのニーズの把握に努め、地域が抱える課題の解決や地域活性化の応援を行う「地域貢献・活性化支援策」に取り組んでまいります。

■次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」



東北電力旗
東北ミニバスケットボール大会
(平成2年より協賛)

中学生作文コンクール
(昭和50年より実施)



■地域づくり支援制度「まちづくり元気塾[®]」 (平成18年より実施)



平成29年までに東北6県および新潟県の32団体を支援

カ点2

成長に向けた新たな事業機会を追求する

当社は、「成長に向けた新たな事業機会を追求する」ため、グループ一体となって大きな成長に向けた取り組みを加速していきます。

東北・新潟域外での電力販売

当社は、東京ガス株式会社と共同で設立した株式会社シナジアパワーを通じて、昨年4月より、北関東エリアを中心とした関東圏の高圧・特別高圧のお客さま向けの電力販売を展開しています。あわせて、首都圏の低圧のご家庭向けには、料金プラン「よりそう、でんき」をご用意しており、東北電力グループが一体となって電気をご提供してまいります。

また、今後は、日本卸電力取引所（JEPX）の積極的な活用に加え、競争力のある電源やトレーディング機能を活かした卸売も行うなど、東北・新潟域外においても販売電力量の拡大をはかってまいります。



東北電力 × 東京ガス

お客様のためにお役に
立つサービスグループを構築します

東北6県および新潟県を応援するあなたに

首都圏向け料金プラン

「よりそう、でんき」

海外事業の拡大

当社は、海外事業を収益拡大に向けた成長分野と位置付け、北・中米および東南アジアを重点エリアとし、発電事業（IPP）を中心に事業機会を拡大させてまいります。

■海外における事業機会追求のイメージ



人材育成のための海外火力発電所
建設現場への派遣（ベトナム）



リオ・ブラボール火力発電所
（メキシコ）

ガス事業の強化

当社は、かねてより法人のお客さまや地方都市ガス会社に対し、グループ企業を通じて、ガスパイプラインやタンクローリー等による天然ガス供給等を実施するなど、東北地域への天然ガスの普及促進に努めてまいりました。

今年4月には、岩手県にあるトヨタ自動車東日本株式会社へ天然ガスの供給を開始するとともに、あわせて、隣接する株式会社デンソー岩手へも、今年の秋頃を目途に天然ガスの供給を開始する予定です。

今後も、トータルエネルギーソリューションサービスの充実をはかることで、東北・新潟のエネルギー利用の多様化や高効率化等に寄与できるよう、努めてまいります。

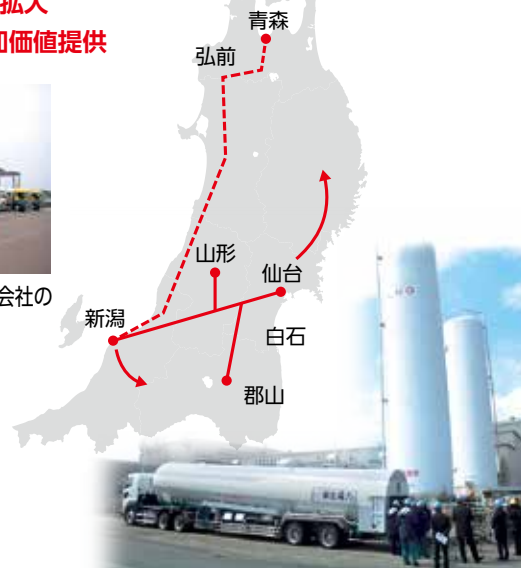
■現在のガス供給の経路

ガス販路の拡大 電気+ガスの付加価値提供



日本海エル・エヌ・ジー株式会社のLNGローリー出荷設備

- タンクコンテナ (鉄道)
- パイプライン



トヨタ自動車東日本株式会社へのタンクローリーによるLNGの供給

水素の利活用などによる再生可能エネルギー普及拡大の推進

当社の研究開発センターでは、再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に向けて、水素製造技術を活用した出力変動対策に関する研究を今年3月に開始いたしました。

再生可能エネルギーの導入拡大にあたっては、気象条件による出力変動の調整が課題となっておりますが、本研究を通じ、出力変動の大きい電気を用いて水素を製造のうえタンクで貯蔵し、燃料電池により酸素と反応させて発電することで蓄電池と同様に出力変動対策として適用できるかどうかの検証を行ってまいります。



研究開発センターに設置した水素製造システム

カ点3

変革実現により強固な経営基盤を確立する

東北電力グループは、「変革実現により強固な経営基盤を確立する」ため、着実な取り組みを進めます。

財務体質のさらなる改善

当社は、財務体質の改善に向け、社長を議長とする「経営効率化推進会議」のもとに「調達改革委員会」を設置し、3つの切り口から、資材・役務調達に係る調達価格の低減および調達の透明性・公平性確保に向けた取り組みを推進してまいりました。

昨年6月には第II期の取り組みをスタートしており、これまでの取り組みの全社展開によりさらなる効率化を進めるとともに、持続的効率化を可能とする組織能力・体制・インフラの整備等の検討を行い、さらなる競争力強化と透明性の向上に取り組んでまいります。

■資材・役務における調達改革の考え方(3つの切り口)

「買い方」
を変える

競争発注の拡大、発注の集約・均平化、外部との共同調達、海外サプライヤーの拡大等

「買うモノ」
を変える

設計・仕様の見直し等(独自仕様や高スペック、工事仕様や工程見直し等)

「買う量」
を変える

設備維持メンテナンス基準の見直し、業務水準の見直し等

CSR(企業の社会的責任)の着実な取り組み

当社は、CSRは全ての事業活動の基盤をなすとの考えのもと、様々な取り組みを進めてきておりますが、事業環境が大きく変化する中、東北電力グループがステークホルダーのみなさまから一層の信頼をいただきながら地域とともに成長を果たしていくためには、これまで以上に企業グループが一体となった取り組みを推進していくことが重要と考え、今年1月、全てのグループ会社を対象とした「東北電力グループCSR方針」を策定いたしました。

本方針にもとづき、安全の確保、環境への配慮、企業倫理・法令遵守を基盤として、ステークホルダーのみなさまとの双方向のコミュニケーションを通じた多様な活動の継続とステップアップにより、グループ各社が一丸となってCSRを推進してまいります。

■東北電力グループとステークホルダーのみなさまとの関係

